

アクションプラン（案）への意見（篠原委員）

全体を通して、アクションプランにどこまでかけるか分かりませんが、これまでの議論の中でもよく出てきた、予算的な支援・措置や人材育成、がもっと具体的に見せることができれば、国が強力に推進していることが伝わるのではないかと思います。特に若手研究者・技術者や学生にこの分野をアピールすることが重要と考えます。

また、全体として、もう少し時間軸と具体的項目が必要な感じを受けます。横（省庁間など）の関係も少し分かりにくいですが、特に福島機構の役割などは（これからできてくる機構なので、原子力委員会からの指針として）もう少し書き込んでもいい気がします。

以下、個々に細かな点で気になった個所を記します。

1) p. 7 【目標】の枠内の最後の項

・アスタチン-211 を用いた放射性医薬品について、○年度を目途に臨床研究を終了する。

とありますが、「・・・臨床研究を終了する。」という書き方が適当かどうか？研究はどんどん新しい薬剤で続くので、初の国産放射性医薬品の保険収載を実現する。・・・か何か、これは畑澤委員にご確認いただいた方がいいかと。

2) p. 13 からの章

制度・体制の整備の中に、廃棄の件を明確に書いた方がいいのではないのでしょうか？（4）の章の最後に少し記載がありますが。法的な整備（運用？）も必要ですし。

3) p. 20 ②取組の方向性の欄の1項目

原子炉だけでなく加速器の拠点施設も国のバックアップが必要かと思っています。例えば、

○ 1度の照射で多量のラジオアイソトープ製造が出来る原子炉や大強度加速器やそれに付帯する大規模ラジオアイソトープ取り扱い施設については、個別の大学や企業で整備することが困難であり、国として整備や技術開発に要する経費を適切に支援していくことが必要である。

4) p. 21 ③政府による具体的取組の2項目

競争的研究費を通じて、とありますが、競争的研究費等を用意する。とは書けないでしょうか？（もしくはこの文章はそういう意味でしょうか？）例えば、

ラジオアイソトープに関する基礎研究や官民連携、実用化に向けた研究や施設整備等への競争的研究費等を整備し、その推進を支援する。

5) p. 22 （4）ラジオアイソトープ製造・利用のための基盤やネットワークの強化

全体として人材育成があまり見えてこない（内容としては入っているが）この項目に「人材」を入れてはどうでしょうか？例えば、

（4）ラジオアイソトープ製造・利用のための教育、人材、設備、ネットワークの強化
（扉の目次も同じタイトルに修正）

同じく、【目標】の枠の中にも、**教育研究者の充実**も入れたい。

6) p. 25 ③政府による具体的取組 の1項目は、検討が必要。人材交流・・・有り方を検討。。。だけでは人材は育成できない。この政府による具体的取り組みには、もう少し具体的施策を書きたいですが。。（前回色々出てきたと思うのですが、少し考えてみますが。。）

また、これとは別に1件加えて、

○ **大学等のラジオアイソトープ施設の連携拠点化と教育・人材育成機能の充実を図る。**（文科省）

などは書きすぎでしょうか？